令和７年７月２１日　*vol. 16*

「スカシユリ、ふたたび」

県立神戸高等学校長
新谷　浩一

○　期末考査が終わり‥

早々に華道部が届けてくれた新しい花。『本日の花材はフェニックス、スカシユリ、リモニュウムです。暑さがますます厳しくなってきましたが、今回の花々が涼しげな雰囲気を醸し出してくれ、ゆったりと過せるでしょう』との言葉が添えられています。此度も上に向かって咲く花、スカシユリが存在感を放っています。

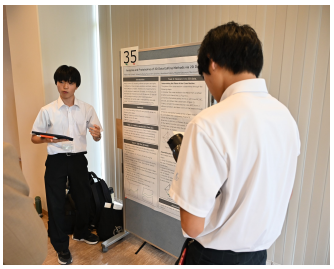
ありがたいことに全国の大きな舞台に多くの神高生が立つ夏休みです。７月 26 日から香川で開催される第 49 回全国高等学校総合文化祭には自然科学研究会化學班の飯森優貴さん、傍士涼世さん、そして文芸部の池田あかりさんが出場します。また、合唱部は３年生 21 名、２年生 12 名、１年生 14 名の総勢 47 名が文字通り大きな舞台に立ちます。普段の練習の成果を存分に発揮し、『神高生、ここに在り』との気概を披露してくれたら嬉しいですね。

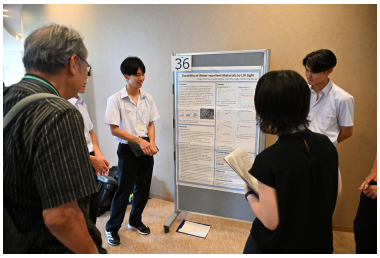
また、すでにお伝えしていますが、８月には大久保豪くん、永見一悟くん、中根祐貴くん、橋本優太くんで編成された男子山岳部チームや馬術部の加納早彩さん、囲碁の松田佳央理さんも全国大会への出場を果たします。どんな成果をあげてくれるか、これまた期待したいところです。

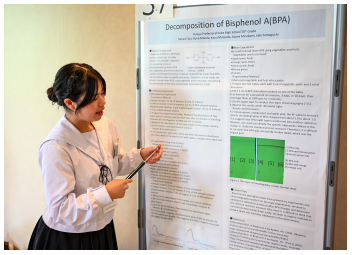
○　それよりも一足先に…

さて、前回の通信でお知らせしましたが、生徒アンケートでも本校の魅力・特色のひとつとして挙げられる探究活動。その成果を披露する『Science Conference』が過日、神戸大学で開催され、神高生も多く参加しました。科学的分野における探究の成果を英語で発表し、それに関する質疑応答もすべて英語で行うという高度な研究大会。今年度は県内外あわせて 17 校 37 グループの発表が繰り広げられました。とても濃密な時間です。

当日、私は本校３グループの発表をお聞きし、加えて来月にはワシントン大学で発表する間之川くんの発表も聞きました。また、同じくワシントン大学の研究発表会に参加する清家さんから意気込みを聴くこともできました。なお、この大会冒頭の特別公演は本校のコナー先生による『バイオリアクター中でのシイタケ培養』についての研究発表。いつもながら知的でスタイリッシュなコナー先生が拍手喝采を浴びる姿も拝見しました。







『上を向いて咲く』。参加した皆さんの姿はまさにスカシユリそのものでしたが、その３日後にも私はスカシユリを見ます。３日続いた体育週間という名の球技大会。新しい自治会メンバーが初めて運営する学校行事でしたが、その最終日は前日からの雨が残り、残念ながらグラウンドはぬかるみ状態。しかし、自治会メンバーはスポンジで水を抜くなど、早朝からグラウンドの復旧作業に励み、無事開催に導いてくれました。

学びの成果を伝えようと自ら日向で咲く。あるいは、みんなで過ごす時間がいいものとなるよう、時に日陰で咲く。どちらもできるのが真のスカシユリですかね。だって、いろんな顔をもっている人の方が圧倒的に魅力的ですもん。少なくても私はそう思っているのです。